

第65回「ゲーテの会」



未来に向かう人類の英知を探る
— 時代の裂け目の中で、人々は何に希望を見出してきたか —

《科学・技術分野》

「日本の医学発展の礎を築いた「北里柴三郎」の大生涯」

講師：北里研究所北里柴三郎記念室次長 **森 孝之** 先生

【講演要旨】 今から120年程前の日本人の平均寿命は男性42.8歳、女性44.3歳でした。劣悪な栄養状況、衛生環境の不備、そして貧困あるいは教育の欠如などに加え、致死率の高い感染症の蔓延も要因の一つでありました。「衛生行政の立ち後れと学問知識の未熟さゆえに毎年、何万という尊い命が伝染病で失われていく。これで文明国といえるのか」と近代国家を目指す日本の盲点を指摘した北里柴三郎は伝染病研究所を創設したのです。ベルリン大学のローベルト・コッホ博士から病原細菌学を学んだ彼は医薬品や予防治療法の研究・開発を推進しました。一方では関連法案の制定に参画すると共に衛生思想の普及にも努めたのです。北里が掲げた近代日本医学の在り方とは何かを考えてみたいと思います。

【講師紹介】 横浜市出身。学校法人北里研究所北里柴三郎記念室次長 医学博士。北里柴三郎博士の生涯を医史学の観点から研究している。尚、北里大学特任講師として自校教育「北里の世界」の講義を担当。他方、学外からの講演依頼も多く幅広い年齢層を対象にした講演活動も積極的に行っている。

【参考図書】 ご講演の内容の理解を促進するために次の図書が有益です。
山崎光男『北里柴三郎—雷と呼ばれた男—』、(上・下)、中公文庫、2007年
どなたでもご参加いただけます。ぜひ、お誘いあわせの上ご参加ください。

日時： 2018年11月22日(木) 18:00～20:30
会場： 公益財団法人国際高等研究所
参加費： 2,000円(交流・懇談会費用を含む)
定員： 40名(申し込みが定員を超えた場合は抽選)
申込： 高等研のHPからお申込みください
<http://www.iias.or.jp/communication/goethe>
締切： 2018年11月21日(水)
問い合わせ先： 公益財団法人国際高等研究所 京都府木津川市木津川台9-3
ゲーテの会事務局 TEL: 0774-73-4000 E-mail: goethe0828@iias.or.jp



けいはんな「ゲーテの会」とは・・・

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都市の将来について一緒に考えてみませんか。